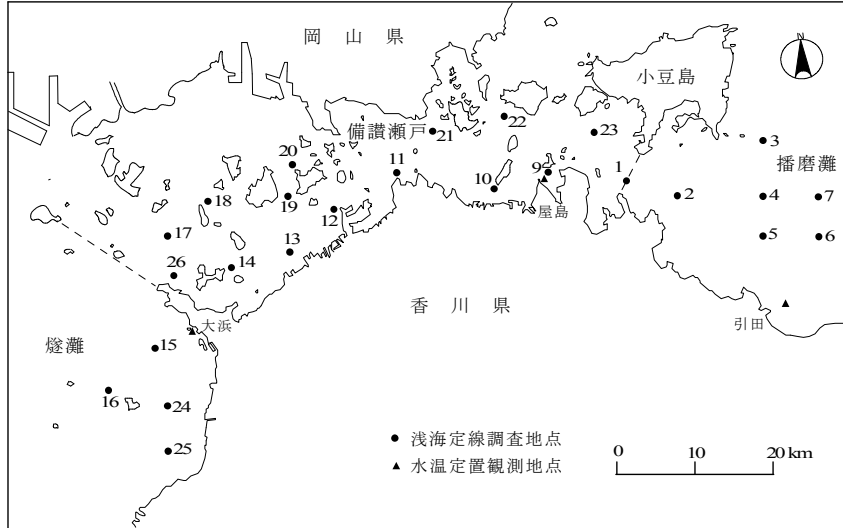


香川県漁海況情報 平成 23 年 8 月 (H23-5 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 23 年 8 月 2 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 3 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温および塩分は「かなり低めからやや高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「かなり低めからやや高め」であった。

※燧灘では一部の沿岸域の点で溶存酸素が低かった。

8 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	25.3	23.9	21.8	31.1	31.3	31.2	6.9	4.28	3.50
	平年値	25.5	24.2	22.3	31.5	31.6	31.9	7.9	4.99	3.25
	平年偏差	-0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	1.3	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4	2.1	0.49	0.60
	状 況	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	かなり低め	平年並み	かなり低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	25.4	25.0	24.8	31.4	31.4	31.4	4.7	3.90	3.67
	平年値	25.2	24.6	24.3	31.6	31.6	31.7	4.8	4.42	4.10
	平年偏差	0.1	0.3	0.4	-0.2	-0.2	-0.3	-0.1	-0.52	-0.43
	標準偏差(σ)	1.0	0.9	0.8	0.6	0.6	0.6	1.3	0.38	0.38
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	やや低め
燧 灘	4地点平均値	28.1	24.5	22.2	31.1	31.8	32.1	8.0	4.86	3.77
	平年値	27.5	23.8	21.7	31.7	32.0	32.3	10.1	5.01	3.17
	平年偏差	0.6	0.7	0.4	-0.6	-0.2	-0.2	-2.1	-0.15	0.60
	標準偏差(σ)	1.7	0.9	0.9	1.0	0.6	0.5	2.1	0.47	0.72
	状 況	平年並み	やや高め	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

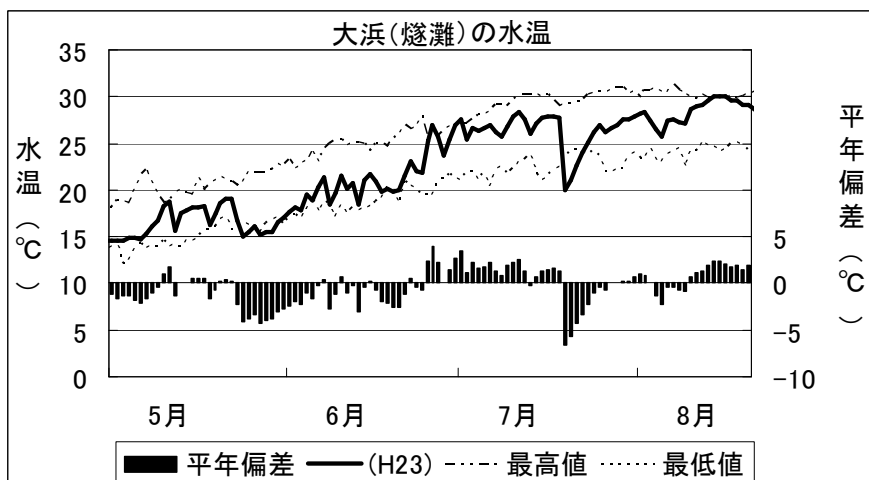
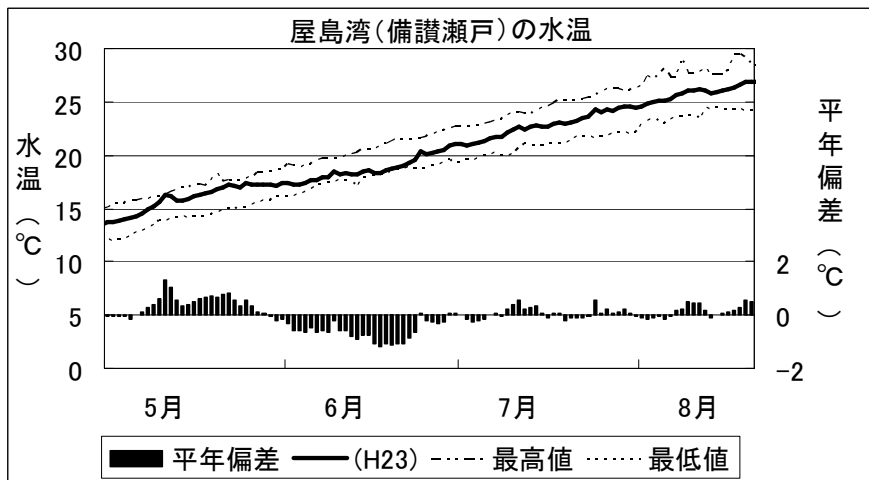
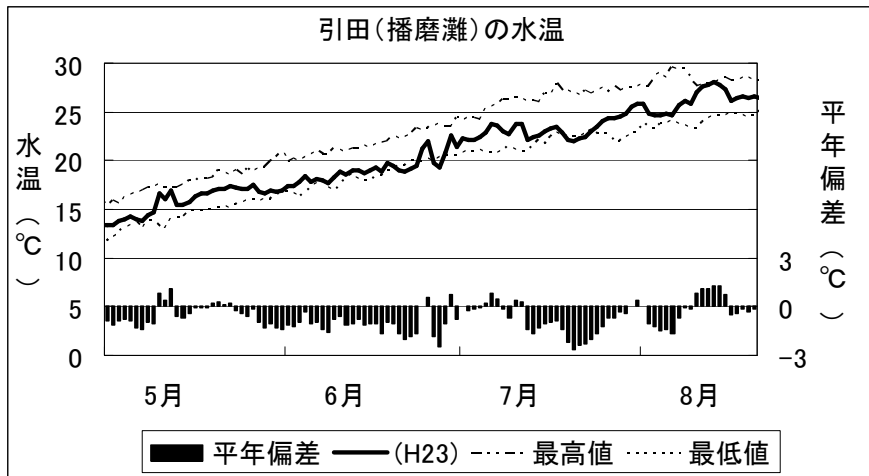
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 5月以降, やや低めから平年並み, 6月はかなり低め, 7月は平年並みからかなり低め, 8月は平年並みに推移している。(6月下旬に6回, 7月に2回, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 5月以降, 平年並みからやや高めで推移していたが, 6月はやや低め, 7月以降は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 5月以降, 平年並みから著しく低め, 6月以降はかなり低めからかなり高めまで大きく変動を繰り返しながら推移している。(5月下旬に7回, 6月中旬に2回, 7月下旬に4回, 過去最低値を, 5月中旬に1回, 6月下旬に2回, 7月上旬に1回, 8月上旬に3回, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 22 (2010) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 22 (2010) 年



4) 赤潮 (7月23日～8月24日)

播磨灘：6月2日に播磨灘南部から南西部において発生が認められた *Noctiluca scintillans* による赤潮は7月28日まで確認された。

8月1日に播磨灘南部(引田地先)において *Ceratium furca* による赤潮が、8月7日に *Cochlodinium polykrikoides* による赤潮が確認された。

8月3日に播磨灘南西部(屋島湾)におい *Heterosigma akashiwo* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：燧灘東部において7月10日から29日に *Noctiluca scintillans* による赤潮が確認された。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年8月2日(備讃瀬戸, 燧灘), 3日(播磨灘)

出現量

—：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

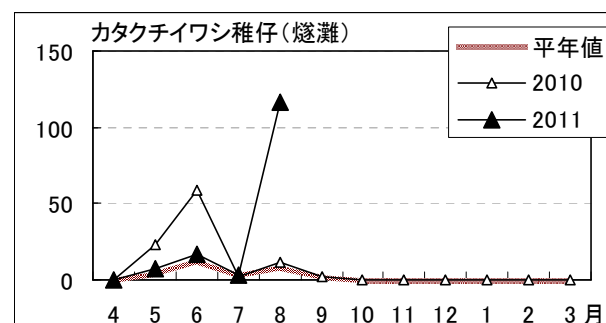
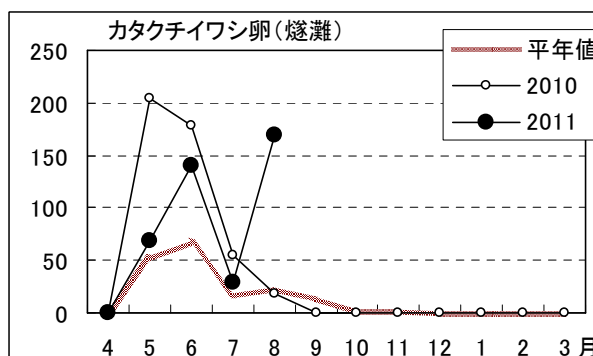
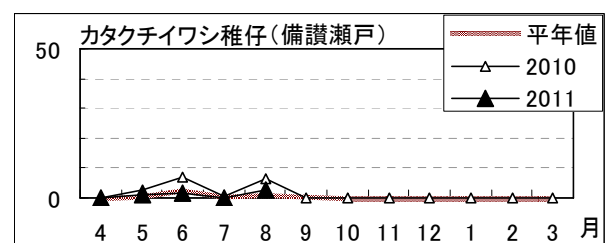
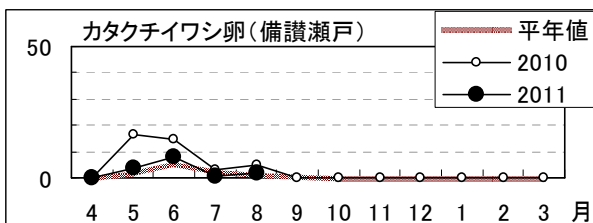
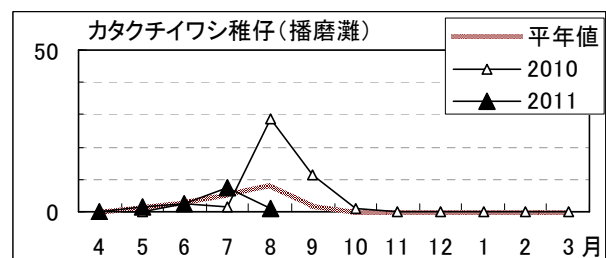
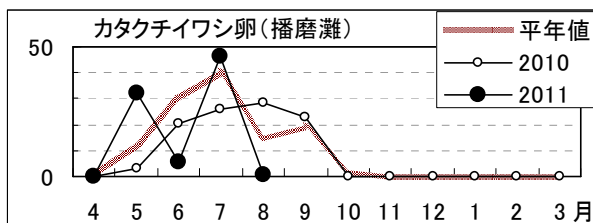
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成22(2010)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成22(2010)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.8	1.0	0.0	0.0	3.5	8.9
	平年値	15.1	8.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	5	12	—	—		
備讃瀬戸	平均値	1.9	2.5	0.0	0.0	10.8	5.9
	平年値	1.3	1.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	145	186	—	0		
燧灘	平均値	168.9	116.4	0.0	0.0	4.9	17.0
	平年値	23.1	8.4	0.0	0.0		
	対平年(%)	732	1,387	—	—		
総平均	平均値	40.5	28.7	0.0	0.0	7.5	9.3
	平年値	18.9	9.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	215	319	—	0		

マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されておられません。



2. 漁況

1) 7月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、コイチ、シロギス、セトダイ、メイタガレイ、ウシノシタ類、ネズッコ類、マアナゴ、ベイカ、マダコ、小エビ類、ガザミ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマダイ、クロダイ、スズキ、ツバス、カンパチ、マアジ、マサバ、コノシロ、テンジクダイなどが漁獲されている。</p> <p>あじ落網ではマアジ、マルアジ、マサバ、タチウオ、イボダイ、ナシフグなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、セトダイ、メイタガレイ、ウシノシタ類、フグ類、マアナゴ、マダコ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、スズキ、セトダイ、キュウセン、シロギス、カサゴなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではマルアジ、アカカマス、シログチ、テンジクダイ、シロギス、マゴチ、ネズッコ類、メイタガレイ、オニオコゼ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマルアジ、スズキ、ボラ、コノシロ、アイゴ、アカカマス、シログチ、テンジクダイ、マナガツオ、コウイカなどが漁獲されている。例年多いマツイカ、アカカマス、マサバが少ない。</p> <p>建網ではキジハタ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p>

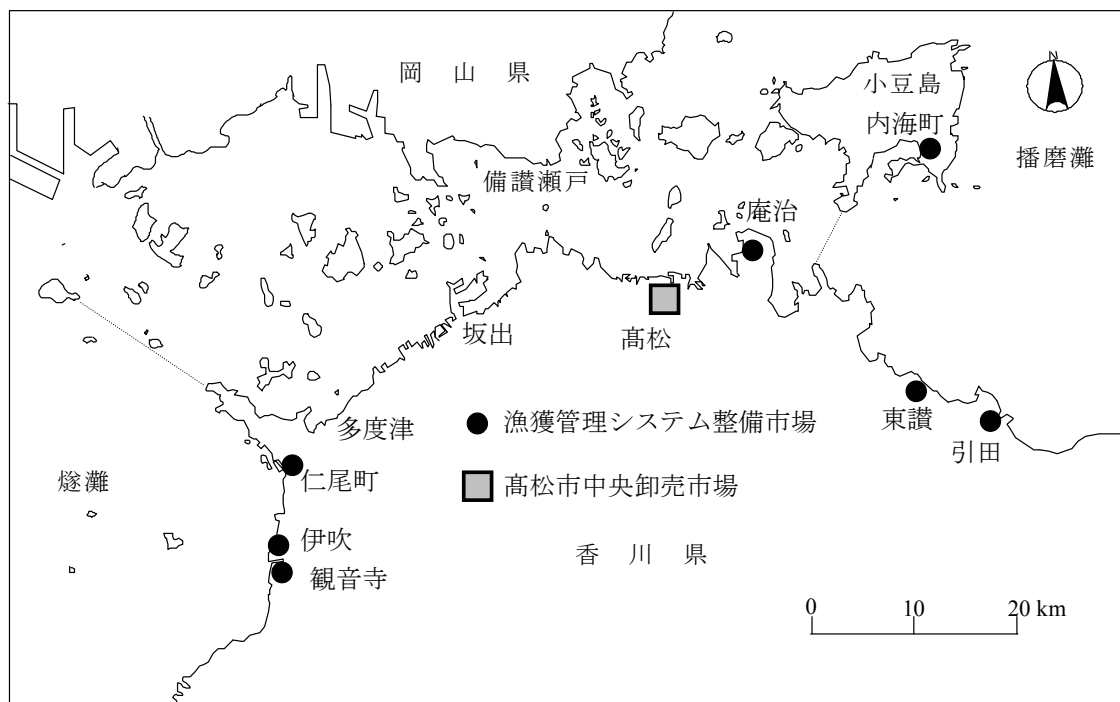
2) 香川県の漁獲情報

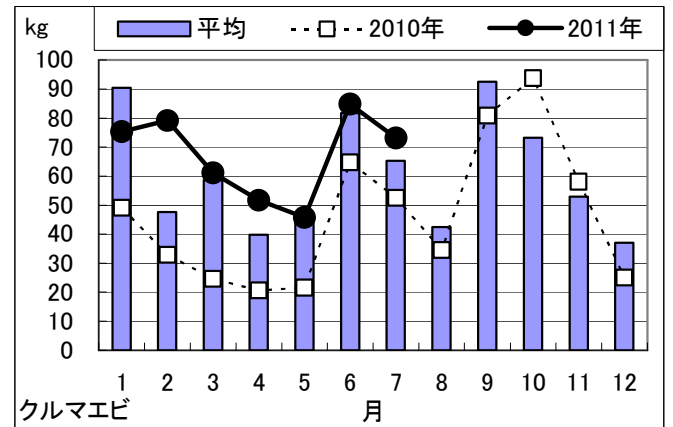
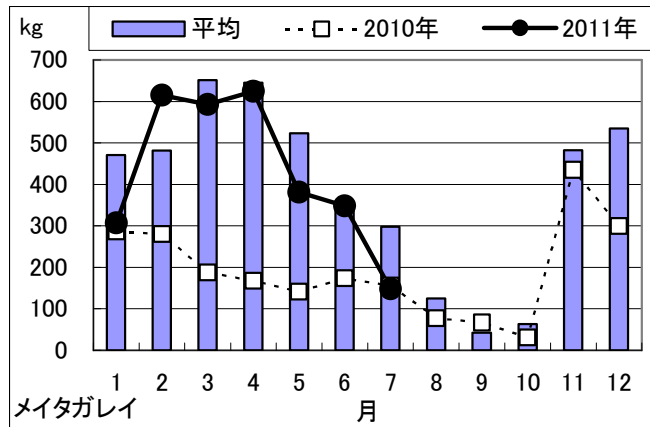
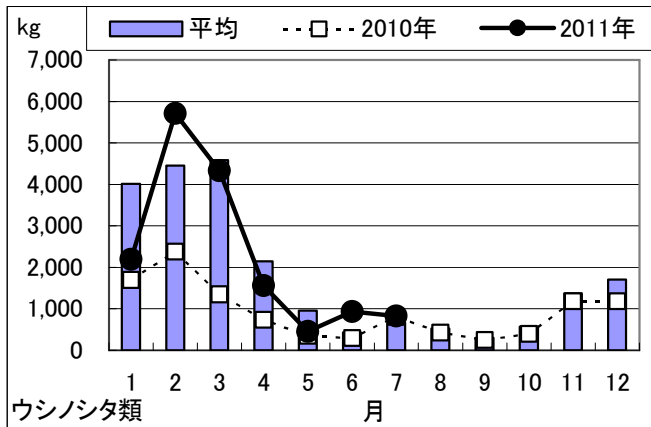
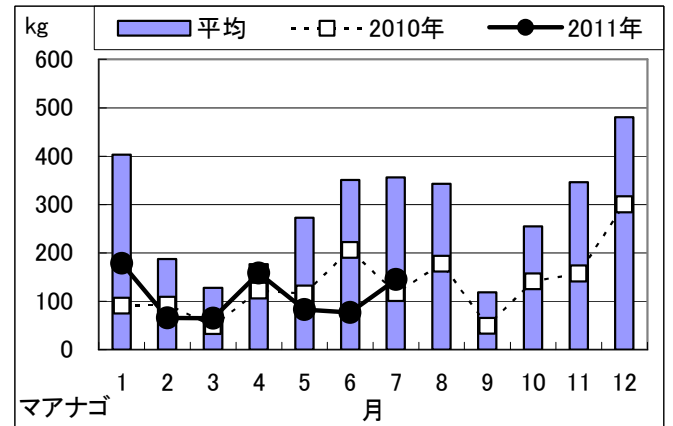
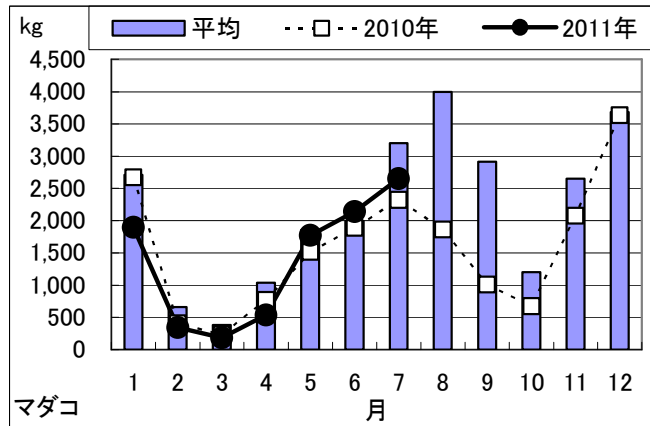
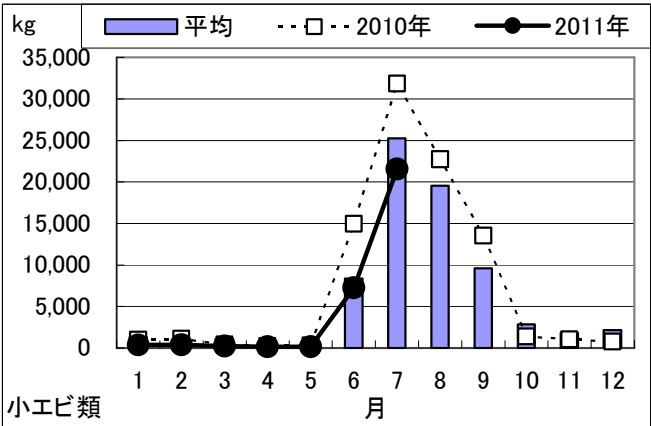
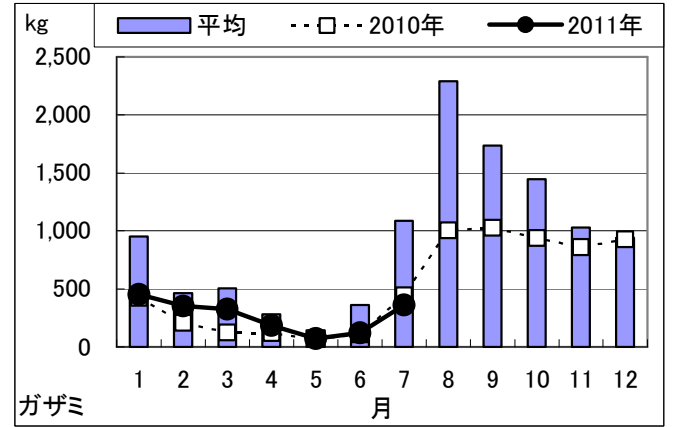
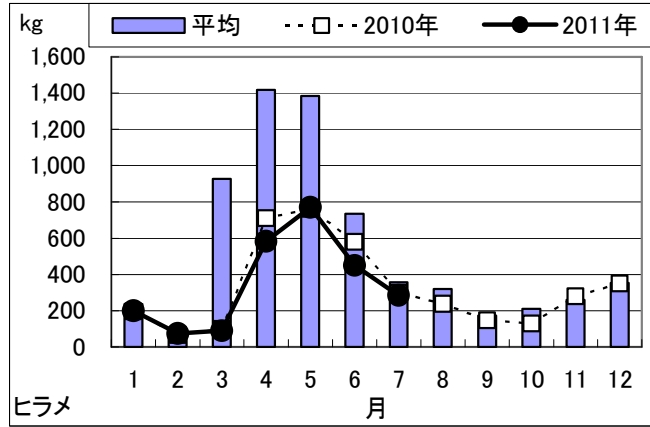
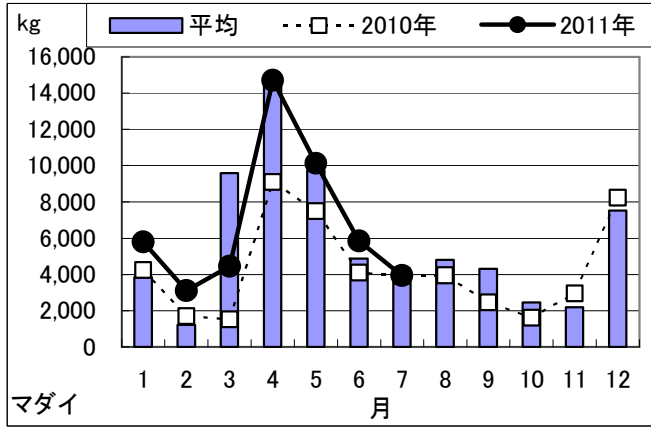
(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

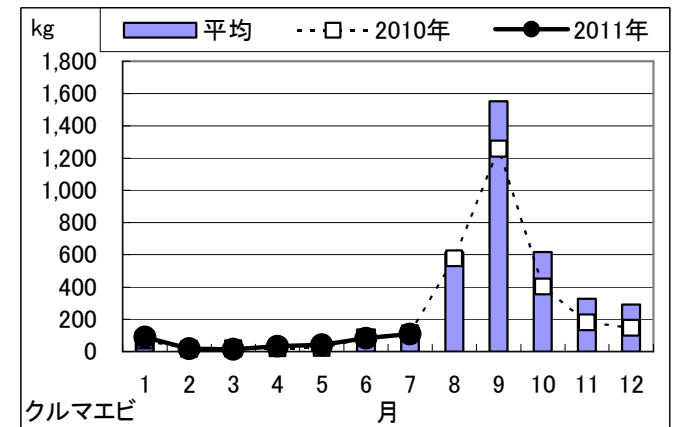
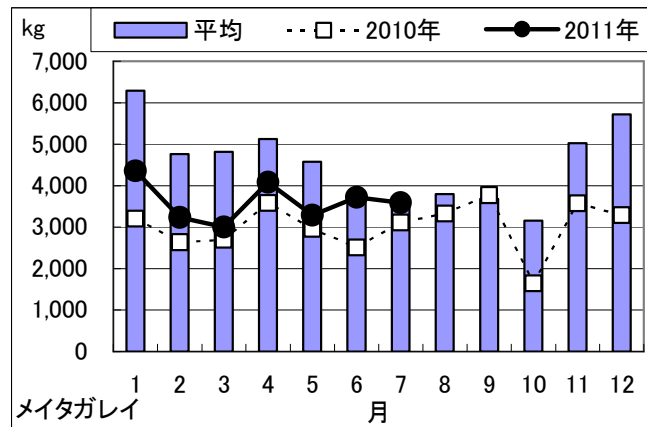
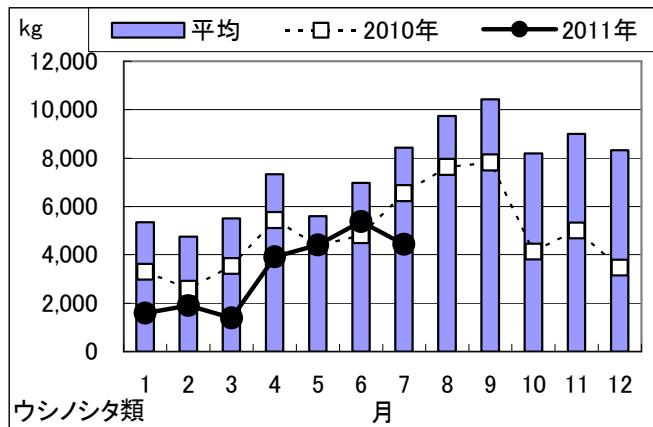
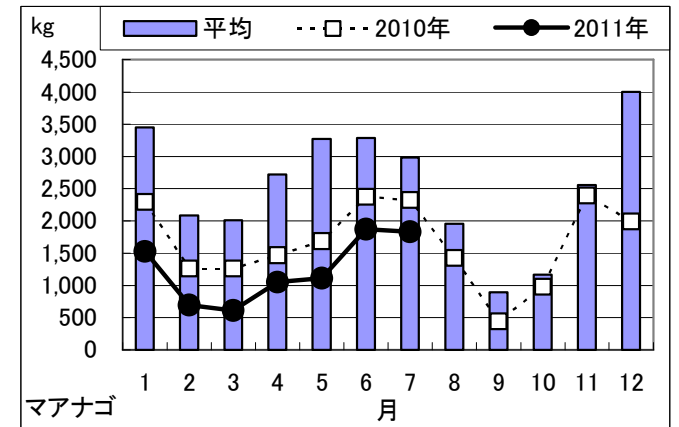
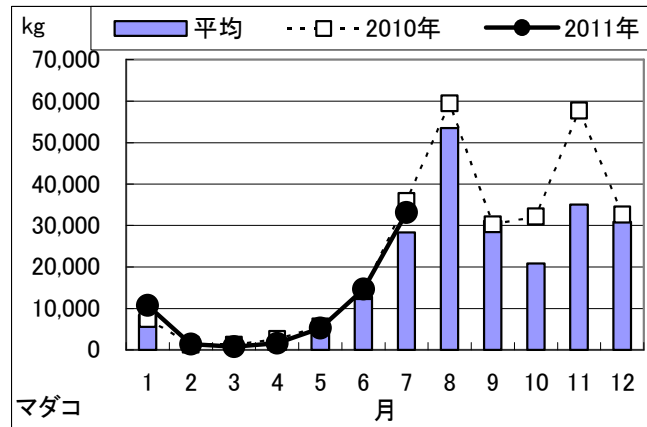
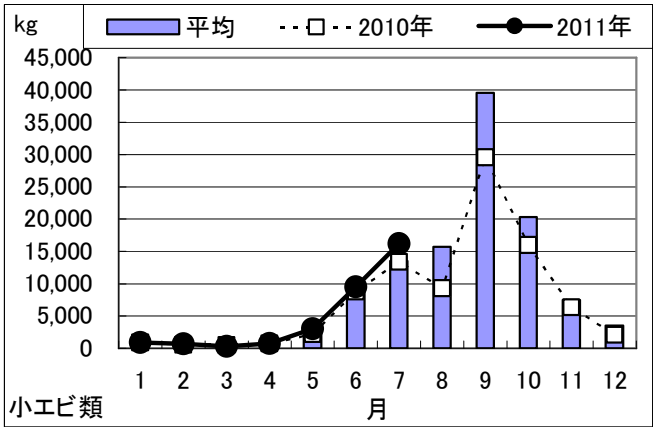
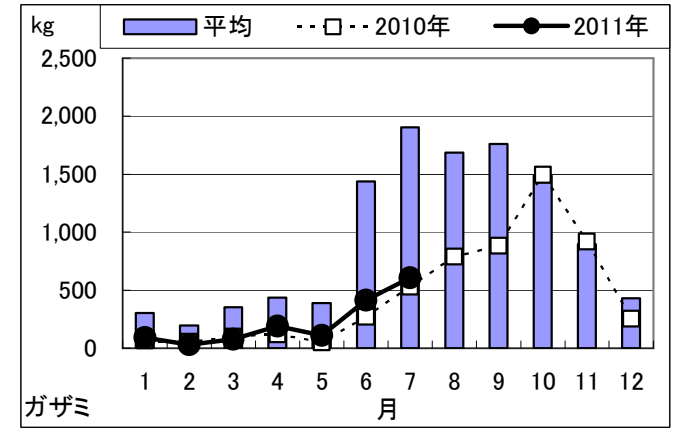
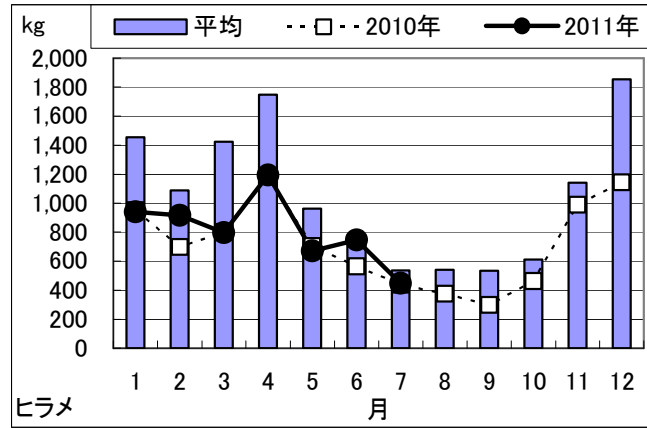
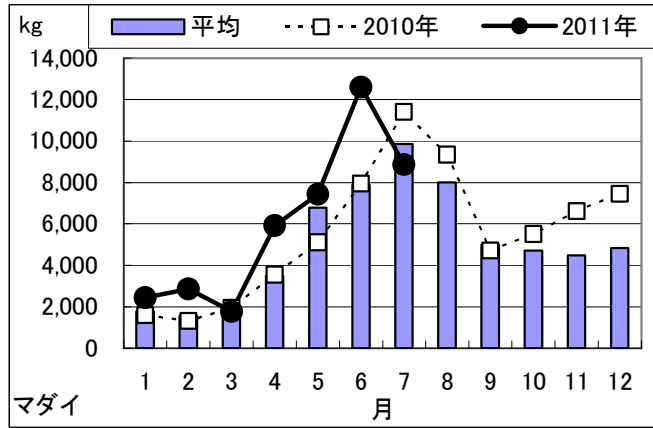
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体から集荷されている)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。







燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。

